

私たちの ロッテミライ チャレンジ 2048

創業100周年までに、未来のために実現したいこと



サステナビリティレポート 2025



左から
経営戦略部 事業開発課 主査
弘田 裕介
生産本部 資材部 資材一課 主査
松本 祐汰
マーケティング本部
第二ブランド戦略部 部長
藤澤 香織



私たちの
ロツテミライ
チャレンジ 2048
創業100周年までに、未来のために実現したいこと

お客様の選択が
しあわせな未来につながるように
ブランドを進化させる

お客様が私たちの製品やサービスを選択する、
その積み重ねがお客様のしあわせな未来につながっていく、
そんな未来を実現するために、新たな価値を探索しながら、
バリューチェーンに関わるすべてを持続可能なものに進化させていきます。

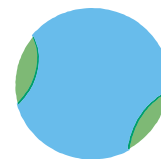


左から

生産本部 浦和工場 生産部
生産一課 三係
瀧川 清香

生産本部 浦和工場 生産部
生産一課 課長
山下 信幸

中央研究所 研究情報戦略部
パッケージ研究課
チーフスペシャリスト
藤原 普夫



私たちの
ロツテ ミライ
チャレンジ 2048
創業100周年までに、未来のために実現したいこと

人と人をつなぎ
持続可能な地球を実現する

私たちのビジネスは、私たちだけで完結するものではなく、
バリューチェーンを構成する多くのステークホルダーと連携しています。
私たちが主体的にステークホルダーをつなぎ、巻き込み、
互いに学びながら持続可能なビジネスへの転換を一緒に目指していきます。

左から

グローバル本部 トレーディング部
グローバルセールス課 営業係長
吉岡 セバスチャン

営業本部 営業戦略部
リテールサポート課
日吉 真佑美

統合戦略室 シニアエキスパート
佐々木 敦



私たちの

ロツテミライ
チャレンジ2048

創業100周年までに、未来のために実現したいこと

多様な人財が集い
独創的なアイデアを
次々と生み出す会社になり

2048年の未来でもイノベーションによる成長を続けるために、

多様な人財が集い、思う存分力を発揮してもらえる会社でなくてはなりません。

ロッテで働きたい、ロッテで働いてよかったと思ってもらえるよう、私たちは進化し続けます。

ステークホルダーの 皆さまとともに持続可能な 成長と企業価値の向上を 実現していきます

代表取締役社長執行役員

中島 英樹



©L/KMP

節目の年にカカオ生産地を訪問

2024年は当社のチョコレート事業が60周年を迎えた節目の年であり、同年10月に当社の主要なカカオ豆調達地であるガーナのカカオ農園と農村部の学校を訪問してきました。十分に環境が整っているとは言えない学舎で目を輝かせながら勉学に励む子どもたちの様子を目の当たりにして、改めてカカオの生産地が抱えている課題を改善せねばと、私自身強く感じました。

ここ数年は、円安の進行や西アフリカでのカカオ豆不作に伴うカカオ相場の歴史的な高騰もあり、事業そのもののサステナビリティ(持続可能性)について、社内外で対話する機会が増えました。当社はガーナを中心に生産地やサプライヤーと良好で強固な関係を築き、カカオ豆の持続可能な調達に長年取り組んできました。児童労働の撤廃や森林減少の防止に加え、カカオの生産性を高めるための農業指導も行っています。指導を受けている農家はそうでない農家に比べ、不作の影響が小さかったとも聞い

ています。これらの活動が功を奏し、相場高騰の影響は受けつつも、生産に必要なカカオ豆を確保し続けることができています。不確実性が高まる昨今においては、サステナビリティ活動が、有事へのレジリエンスという側面からも重要だと再認識しました。

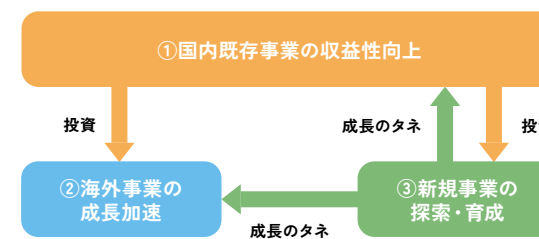
カカオの生産性が高まり農家の方々の生計が向上していくことは、カカオ農家という仕事の魅力を高め、将来のカカオ生産者を創出していくことにつながります。当社のチョコレート事業のサステナビリティを考える上で、これらの活動はとても重要な意味を持つと言えます。



しかしながら、一社だけでできることの限界も感じています。そこで、2024年には他のカカオ豆関連企業と連携して、バイオ炭の評価試験をスタートさせました。カカオ生産地で廃棄されているカカオの外殻を炭化させ、農園に散布することで、カカオの生産性向上や脱炭素効果が期待されます。その有効性や最適な散布方法などを現地で評価していきます。今後も、ステークホルダーと連携して社会課題解決へのインパクトを拡大していきたいと思っています。

経営戦略と連動した人財戦略を推進

当社は持続可能な成長を実現するための経営戦略として、①国内既存事業の収益性向上②海外事業の成長加速③新規事業の探索・育成の3つを推進しています。国内の菓子・アイスを中心とする既存事業では、デフレ経済からの緩やかな脱却の兆しを捉えながら、ブランドを軸に量から価値への転換と生産性の向上を図り、収益性を高めていきます。そして、国内既存事業の収益を基盤に、海外事業へ積極的に投資し、グループ全体の成長をけん引していきます。また、新規事業の探索・育成も積極的に行い、そこから得られるノウハウや既存事業とのシナジーなどの「成長のタネ」を積極的に生み出していきたいと考えています。



これらの経営戦略を実行していくためには人財が最も重要です。そのため、経営戦略と連動した人財戦略を推進し、経営戦略の実行に必要な人財ポートフォリオを実現していきます。この人財ポートフォリオに沿って、優秀な人財の獲得や育成への投資をさらに拡大します。また、当社で思う存分活躍できるように、多様な働き方の実現や多様

性を尊重する風土改革など、従業員エンゲージメントの向上にも引き続き注力していきます。

ロッテ ミライチャレンジ2048では、エンゲージメントスコアの向上を目標の一つに掲げています。この結果は、従業員から私たち役員に対しての「通知表」であると認識しています。どれだけ良い職場環境か、いきいきと働けているか、そして経営を信頼できているかという、役員に対する総合評価です。私たちは従業員の声から目を背けることなく、真摯に受け止め、改善していくことを約束します。ロッテで働きたい、働いてよかったと思ってもらえるよう、私たちはこれからも進化し続けます。

「しあわせな未来」を実現するために

昨今の変化が激しく予測が難しい事業環境下においては、パーパス(存在意義)を明確にすることがますます重要であると感じ、当社グループで働く従業員とともに「独創的なアイデアとこころ動かす体験で人と人をつなぎ、しあわせな未来をつくる。」というパーパスを2023年に新たに策定しました。「しあわせな未来」という言葉には、持続可能な地球と社会、そしてそこで暮らす人々の豊かなくらしに貢献するという私たちの決意が表れています。

当社グループの事業は、原材料をはじめとして多くの自然の恵みに支えられています。さらに、それらを生産する農家の方々やお取引先様、お客様など多くのステークホルダーに支えられています。環境や人権に関わる課題の解決に取り組み、パーパスで掲げる「しあわせな未来」を実現し次の世代に引き継ぐことは、持続的な成長を遂げるための事業活動そのものです。

2025年度以降も、私たちは多くの困難に直面するかもしれません。しかし、変化を恐れず、常に「しあわせな未来」をどう実現するかを問い続け、ステークホルダーの皆さまとともに持続可能な成長と企業価値の向上に挑戦していきます。引き続き、皆さまのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

私たちが考える「しあわせな未来」

私たちが考えるしあわせな未来は、人々が心身ともに健康で、
地球環境や社会と調和した持続可能な未来です。サステナビリティビジョンを実現し、
しあわせな未来をつくるため、創業100周年(2048年)までの目標を掲げました。
私たちのロッテ ミライチャレンジ2048が動き出しています。

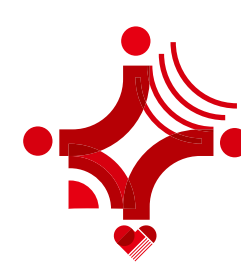


しあわせな未来への道筋

6つのマテリアリティと目標(ロッテ ミライチャレンジ2048)は、
サステナビリティビジョンの実現を通じて、
パーパスで掲げるしあわせな未来につながっています。



LOTTE Purpose

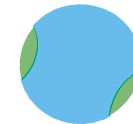


- ✦ 独創的なアイデアと
- 〰 ころ動かす体験で
- 〰 人と人をつなぎ、
- ♥ しあわせな未来をつくる。

サステナビリティビジョン



お客様の選択がしあわせな未来に
つながるようにブランドを進化させる



人と人をつなぎ持続可能な
地球を実現する



多様な人財が集い独創的な
アイデアを次々と生み出す会社になる

6つのマテリアリティ



心身の健康

これまで培ってきた「噛むこと」などの食と健康に関する知見やおいしさの技術を基盤に、新たな価値への挑戦を続け、人々のウェルビーイングに貢献します。



持続可能な調達

ステークホルダーとともにサプライチェーンにおける環境や人権に関する課題の解決に努め、持続可能なサプライチェーンを実現します。



サーキュラーエコノミー

原材料の調達から消費、廃棄までのバリューチェーン全体において環境に与える負の影響を最小化させるとともに、サーキュラーエコノミーの実現を目指します。



脱炭素

ステークホルダーと連携し、自社およびサプライチェーンから排出される温室効果ガスを実質ゼロにし、脱炭素を実現します。



社会とつながる

様々なステークホルダーとの共創や社外との交流を通じて、社会に貢献しながら従業員および組織の成長を図り、社会課題の解決を加速させます。



人財

企業競争力の源泉であるイノベーションを継続的に創出するために、DEIの推進や働きやすさと働きがいの向上に努め、多様な人財が働きたいと思える職場を実現します。

ロッテ ミライ チャレンジ 2048

創業100周年までに、未来のために実現したいこと

サステナビリティビジョンを実現し、しあわせな未来をつくるため、創業100周年(2048年)までの目標を掲げました。この目標は、進捗や社会の変化に合わせて定期的に見直し、抽象的な目標を具体的にアップデートしていきます。



100周年目標

2048年度

90周年目標

2038年度

80周年目標

2028年度

現在の進捗

2024年度

*1 ロッテ サステナブルカカオ(LSC):生産地のトレーサビリティが確立されたカカオ豆のこと。LSCの調達先に対して、生産地が抱える課題への支援を展開している。

*2 Scope: GHGプロトコルに基づく排出量の算定範囲

*3 アンケート対象者2,655名、有効回答数1,819件、食育活動等参加者264名
食育活動、食育以外のセミナー、地域・社会貢献活動を行った人数

*4 エンゲージメント・レーティング:企業と従業員のエンゲージメント
(相互理解・相思相愛度合い)を表す指標評価段階はAAA~DDまで11段階

*5 組織変更に伴い、2025年3月末時点の実績より親会社である株式会社ロッテホールディングスを集計対象に含む



お客様の選択がしあわせな未来に
つながるようにブランドを進化させる



人と人をつなぎ持続可能な
地球を実現する



多様な人財が集い独創的な
アイデアを次々と生み出す会社になる



心身の健康

- ウェルビーイングに貢献する新たな製品、サービス、事業領域でしあわせな未来をつくる

- 噛むことによる健康増進が当たり前の社会を実現する
- 製品・サービスをウェルビーイングに貢献できるようアップデートさせる

- 噛むことによる健康増進の普及に努め、咀嚼チェックガムによる咀嚼能力評価回数を年100万回以上に増やす

- 咀嚼能力評価回数 55万回



持続可能な調達

- すべての原材料で持続可能なサプライチェーンを実現する

- 主要な原材料で持続可能なサプライチェーンを実現する

- 調達するすべてのカカオ豆の生産地域把握と地域が抱える課題への支援(ガーナ産は2025年度までに)

- ロッテ サステナブルカカオ(LSC)*1 調達率 51%



サーキュラーエコノミー

- 容器包装に使用する石油由来使い捨てプラスチックをゼロにする
- ステークホルダーと連携して食品ロスおよび食品廃棄物(FLW)を最小化する

- 容器包装に使用するプラスチックを最小化、または、リサイクル可能な設計に変更する

- 主要な3製品で容器包装をアップデートする
- FLW 削減率 50%以上(原単位、2019年度比)

- 部門横断のプロジェクトチームを組成し、容器包装をアップデートする製品を検討中
- FLW 削減率 31%(原単位、2019年度比)



脱炭素

- カーボンニュートラルを実現する(Scope*2 1、2、3)

- エネルギー起源CO₂排出量削減率 62%以上(Scope 1、2・2019年度比)
- サプライチェーンGHG排出量削減率 50%以上(Scope 3・主なカテゴリー)

- エネルギー起源CO₂排出量削減率 23%以上(Scope 1、2・2019年度比)
- 削減可能な一次データを用いたサプライチェーンGHG排出量算定を実現する(Scope 3)

- エネルギー起源CO₂排出量削減率 18%(Scope 1、2・2019年度比)



社会とつながる

- 社外との共創を個人および組織の成長につなげ、社会課題の解決に貢献する

- バリューチェーン全体の脱炭素やサーキュラーエコノミーの実現に一人ひとりが貢献する
- 経験やスキルを社会に還元し、社外での多様な経験を個人および組織の成長につなげる

- 役員および社員の環境研修受講率 100%
- 社員の食育活動等参加率 20%以上(株式会社ロッテ、期間中1回以上)

- 役員向け環境研修実施
- 社員の食育活動等参加率 14.5%(株式会社ロッテ 正社員・嘱託社員へのアンケート調査*3)



人財

- 多様なグローバル人財が集い、活躍する職場を実現する

- 男女間賃金格差を是正する
- 働きたい会社として社会に認知される

- 国内女性管理職比率 10%以上
- エンゲージメント・レーティング*4 A以上(株式会社ロッテ)

- 国内女性管理職比率 8.2%*5
- エンゲージメント・レーティング B(株式会社ロッテ)



活動紹介 2048年に向けた私たちの活動

サステナビリティビジョンを実現し、しあわせな未来をつくるため、様々な取り組みを進めています。ここからは、6つのマテリアリティそれぞれにおける事例をご紹介します！



心身の健康



これまで培ってきた「噛むこと」などの食と健康に関する知見やおいしさの技術を基盤に、新たな価値への挑戦を続け、人々のウェルビーイングに貢献します。



「噛むこと」の普及により人々の豊かな生活に貢献

社会的インパクトを試算

噛むことの普及によってもたらされる社会的インパクトの一つとして、ガム噛み習慣によるオーラルフレイル*予防に伴う介護費抑制効果の推計結果を、年間約52億円と発表しました。本推計結果は、全国の65歳以上の人口のうち、ガム噛み習慣を有している割合を13.98%と仮定し、要介護3以上に絞って介護費抑制効果を推計しており、ガム噛み習慣が拡大すると社会的インパクトも拡大することが見込まれます。

* オーラルフレイル：フレイル（加齢に伴い心身の機能が低下した状態。虚弱。）の一つで、口腔機能が軽微に低下した状態。全身のフレイルとも関係が深いとされている。

地域との連携

噛むことの普及の一環として、自治体や地域の歯科医師会との連携を進めています。噛むことの啓発や咀嚼チェックガムなどを活用し、住民の歯と口の健康づくりを推進することで、健康寿命の延伸に貢献していきます。

2024年度の新規連携

神奈川県厚木市／（一社）厚木歯科医師会
 沖縄県那覇市／（公社）南部地区歯科医師会
 東京都多摩市／（公社）東京都八南歯科医師会多摩支部
 （公社）岐阜県歯科医師会
 千葉県／（一社）千葉県歯科医師会
 千葉県千葉市／（一社）千葉市歯科医師会



噛むチカラを、みんなのチカラに。
噛むこと研究室

詳しくはこちら

噛むこと研究室



持続可能な調達

ステークホルダーとともにサプライチェーンにおける環境や人権に関する課題の解決に努め、持続可能なサプライチェーンを実現します。



カカオ豆の持続可能な調達に取り組む



ロッテ サステナブルカカオ

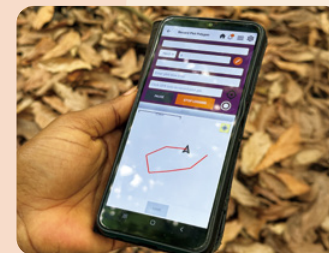
持続可能なサプライチェーンを実現するため、調達するカカオ豆のトレーサビリティ確立とその生産地が抱える課題への支援を進めています。トレーサビリティが確立されたカカオ豆をロッテ サステナブルカカオ(LSC)と名付け、その調達割合を拡大しています。LSCの調達先に対して、生産地が抱える課題への支援を展開しています。



児童労働の撤廃に向けて

ガーナでは、カカオ農園での児童労働が社会課題として指摘されています。子どもたちに適切に教育の機会が与えられるよう、そして決して危険を伴う労働に従事することのないよう、CLMRS*などの児童労働モニタリングシステムを導入しています。

* CLMRS：児童労働監視改善システム(Child Labour Monitoring and Remediation Systems)の略。カカオ産地で児童労働撤廃のための活動を推進するNPO団体のInternational Cocoa Initiative(ICI)が開発したシステムで、農家コミュニティ単位での児童労働リスクを把握・改善する仕組み。



農園マッピングと森林減少の防止

スマートフォンのGPSアプリを用いてカカオ農園をマッピングし、衛星画像の情報などを用いて森林減少への関与をモニタリングしています。リスクが高い農園については、サプライヤーと事実関係を確認し、状況改善に向けた対応策を検討していきます。



詳しくはこちら

A Happy Cycle with Cocoa





サーキュラーエコノミー



原材料の調達から消費、
廃棄までのバリューチェーン全体において
環境に与える負の影響を最小化させるとともに、
サーキュラーエコノミーの実現を目指します。



食品ロスの削減に挑戦

余剰食品の寄付

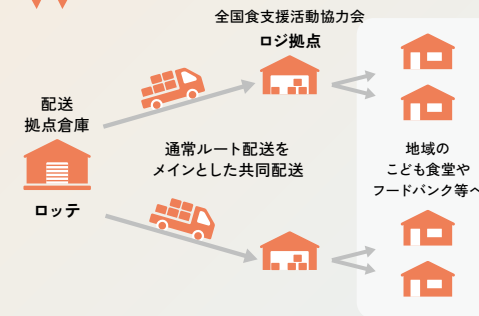
当社は、需要予測精度の向上など、余剰食品*1の発生抑制に取り組んでいますが、やむを得ず発生してしまった余剰食品は、フードバンクやこども食堂等に定期的に寄付することで、食品ロスの削減に努めています。一般社団法人全国食支援活動協力会*2と協力して余剰食品の効率的で持続可能な寄付に取り組んでいます。

*1 賞味期限または消費期限に達していないが、出荷期限または店頭での陳列期限を過ぎた当社製品。

*2 全国のフードバンクやこども食堂等と食品寄付を行う事業者等を効率的につなぐロジシステム「ミールズ・オン・ホイールズロジシステム」を推進。



令和6年度食品ロス削減推進表彰
審査委員会委員長賞



循環型社会の実現に向けて



2024日本パッケージング
コンテスト菓子包装部門賞



プラスチック使用量の削減・代替素材の活用

一般流通冷凍では国内初(当社調べ)となる竹材アイススティックを使用した製品「チョコ&バニラバー」を販売しました。竹材は生育の速さなどから、サステナブルな素材として注目されています。



ガムボトルの回収

2024年度には、株式会社ライフコーポレーションにご協力いただき、店頭でガムボトル容器の回収を行いました。ガムボトル容器は買い物カゴにリサイクルされ、店頭でご使用いただいています。



PaperLab

使用済みコピー用紙を社内で再生利用

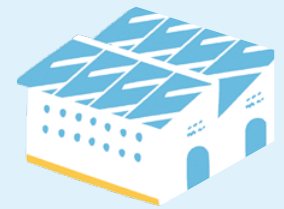
オフィス製紙機「PaperLab」を当社浦和工場に設置し、社内で回収した古紙をリサイクルして製造した再生紙の利用を進めています。現在は、従業員の名刺等に活用されており、さらに幅広い用途への展開を検討しています。



脱炭素



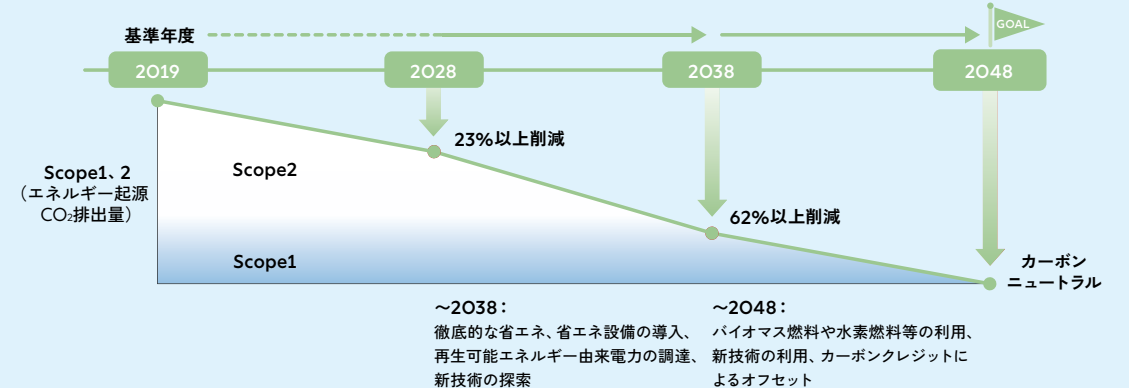
ステークホルダーと連携し、
自社およびサプライチェーンから
排出される温室効果ガスを実質ゼロにし、
脱炭素を実現します。



カーボンニュートラルの実現を目指して

ロードマップ

2048年度の目標であるカーボンニュートラルを実現するために、省エネルギー活動、再生可能エネルギーの導入および新技術の探索を推進しています。



脱炭素の推進

省エネ設備や太陽光発電設備の導入、再生可能エネルギー由来電力の調達を計画的に進めています。さらに、インターナル・カーボンプライシング制度を導入し、ロードマップ実現に向けた取り組みを加速しています。

自社拠点の太陽光発電設備

		発電容量 (kW)
2022年10月	タイロッテ アマタ工場	約1,800
2023年9月	ロッテベトナム ビンズン工場	約1,250
2025年5月	ロッテ 滋賀工場	約450
2025年8月	ロッテインドネシア プカシ工場	約730



ロッテベトナム ビンズン工場



ロッテ 滋賀工場



社会とつながる



様々なステークホルダーとの共創や社外との交流を通じて、社会に貢献しながら従業員および組織の成長を図り、社会課題の解決を加速させます。



食育で社会とつながる

出張授業

健康の源である食に関する、正しい知識や理解を深めるための食育活動に取り組んでいます。全国の社員が現在の業務を継続しながら、兼任講師として出張授業に参加しています。また、社外での多様な経験は、個人や組織の成長にもつながると考え、食育活動等への参加を推進しています。



受賞 消費者教育教材資料表彰2025
内閣特命担当大臣賞

教材提供

エシカル消費をテーマとしたプログラム「あなたの『選ぶ』から創るしあわせな未来」は、自分が「選ぶ」とこと社会とのつながりに気づき、未来に向けてどのような消費行動を選択すべきかを深く考える機会を提供します。同プログラムは、公益財団法人消費者教育支援センター主催の「消費者教育教材資料表彰2025」において、最も優れた教材として内閣府特命担当大臣賞を受賞しました。



工場見学 おかしの学校

製造の現場を実際に見学し、製造の工夫とお菓子の楽しさについて学ぶことができる工場見学施設です。2024年度は約1万7千人のお客様にご来場いただきました。



スマイルエコラベルでお客様とつながる

スマイルエコラベルとは、容器包装の環境配慮設計をお客様に分かりやすく伝えるラベルです。独自の環境配慮基準をクリアした製品に順次表示しています。



人財



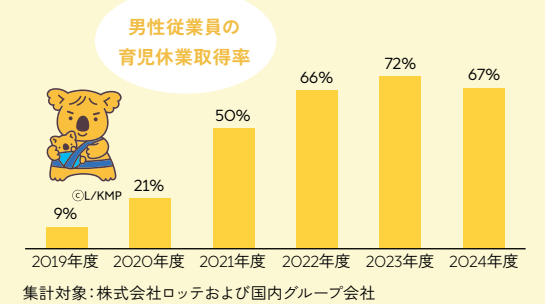
企業競争力の源泉であるイノベーションを継続的に創出するために、DEIの推進や働きやすさと働きがいの向上に努め、多様な人財が働きたいと思える職場を実現します。



従業員エンゲージメントの向上に取り組む

Diversity, Equity & Inclusion(DEI)

多様な価値観を受容する組織風土の醸成が、従業員一人ひとりが活躍するために必要であると考え、DEIを推進しています。ジェンダーギャップ解消に向けた施策の一つとして、女性活躍推進とあわせて、男性の育児参画を目的とした男性育休取得を推進しています。



新規事業創出を目指す「ミライノベーションプロジェクト」

新規事業立ち上げに挑戦したい従業員を公募し、事業化を推進する「ミライノベーションプロジェクト」を2022年度より実施しています。選考を通過したアイデアは、事業化に向けて具体的な検討を進めています。また、本プロジェクトは、従業員の自律と挑戦を支援し、人財育成を促す役割も担っています。

LOTTE Family Day 2024

従業員のご家族を招いて行う社内イベント「LOTTE Family Day」を実施しています。“ロッテグループで働いてよかった!”という誇りを持てる会社、「従業員とその家族を大切にする会社」を目指して開催しています。



社長との名刺交換



社員食堂でランチ



おかしの学校の見学



安全・安心なスイーツで
笑顔をつなぎ、
ウェルビーイングに貢献します

(株)銀座コージコーナ
代表取締役社長 庄野 和彦



研究所の挑戦と革新を
一層進化させ、目標達成を
皆で目指します！

(株)ロッテ
中央研究所 所長 関 哲哉



無限の魅力を秘めている
チョコレートを根幹に
新しい価値を創造し続けます

(株)メリーチョコレートカムパニー
代表取締役社長 小屋松 儀晃



©L/KMP

安全・安心で、
環境に配慮した生産活動で、
しあわせな未来を創る

(株)ロッテ
執行役員 生産本部 本部長 松倉 正芳



研究所の挑戦と革新を
一層進化させ、目標達成を
皆で目指します！

(株)ロッテ
中央研究所 所長 関 哲哉



カカオに関わるすべての仲間が
“All-Winになれる社会”を創る

Dari K (株)
代表取締役 小久保 良輔



©L/KMP

多くの社員がESG戦略に
策定段階から参画することが
重要です

ロッテウェデル
会長 深津 強

私たちの
ロッテミライ
チャレンジ2048
創業100周年までに、未来のために実現したいこと

ダイバーシティを力に変え、
一人ひとりが活躍できる
職場づくりを目指します

(株)ロッテホールディングス
人事戦略部 人事戦略課
DEI&エンゲージメント推進チーム
大平 礼子



ベトナムで育む、
豊かで持続可能な未来へ

ロッテベトナム
General Director 小川 貴昭



環境に配慮した生産活動で
スマートファクトリー化を
推進する

(株)ロッテ
生産本部 九州工場 生産部 改善推進課
岩松 恭平



世界中の人々の
ウェルビーイングに
貢献できる新しい価値を提供する

台湾楽天製菓
董事長 四條 俊也



©L/KMP



噛むことを通じてお客様の
健康増進に貢献します

(株)ロッテ
営業本部 広域流通統括支店
広域流通第二支店 営業課長 雙田 直久



©L/KMP

ロッテバリューを体現し、
サステナブルな企業へ

タイロッテ
Managing Director 松下 定史



製造・販売を通じ、
世界中の環境や
人々のしあわせに貢献します

ロッテインドネシア
President Director Badai Sri Kristanto



©L/KMP

株式会社ロッテ

サステナビリティレポート2025（詳細版）のご案内

より詳細な情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/report.html>



会社情報

商号	株式会社ロッテ (LOTTE CO., LTD.)
本社所在地	東京都新宿区西新宿3-20-1
創業	1948年6月
資本金	2億1,700万円
決算期	3月31日
従業員数	2,299名 7,061名(海外拠点・グループ会社含む)

(2025年3月31日現在、海外およびDari K株式会社は2024年12月31日現在)